

アデノシン三リン酸製剤

トリンシン[®] 顆粒10%

Trinosin[®] granules 10%

(アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物製剤)



貯法：室温保存 (開封後は湿気を避けて保存のこと。)

使用期限：外箱に表示の使用期限内に使用すること。

(使用期限内であっても開封後はなるべく速やかに使用すること。)

承認番号	21700AMZ00047
薬価収載	2005年6月
販売開始	2005年7月
再評価結果	1999年6月
効能追加	1990年3月

【組成・性状】

成分・含量 (1g中)	アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物 100mg
添加物	結晶セルロース、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルスターチ、カルメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロースアセテートサクシネート、クエン酸トリエチル、ラウリル硫酸ナトリウム、タルク、サラシミツロウ
剤形・色調	白色の腸溶性顆粒剤
識別コード	 431 (0.6g 分包)  432 (1g 分包)

【効能・効果】

- 下記疾患に伴う諸症状の改善
頭部外傷後遺症
- 心不全
- 調節性眼精疲労における調節機能の安定化
- 消化管機能低下のみられる慢性胃炎
- メニエール病及び内耳障害に基づくめまい

【用法・用量】

アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、1回40～60mgを1日3回経口投与する。
メニエール病及び内耳障害に基づくめまいに用いる場合には、アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、1回100mgを1日3回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジピリダモール	ジピリダモールはATP分解物であるアデノシンの血中濃度を上昇させ、心臓血管に対する作用を増強すると報告があるので、併用にあたっては患者の状態を十分に観察するなど注意すること。	ジピリダモールのアデノシン取り込み抑制作用により、ATP分解物であるアデノシンの血中濃度が上昇する。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
消化器	悪心、食欲不振、胃腸障害、便秘傾向、口内炎
循環器	全身拍動感
過敏症	痒疹感、発疹
精神神経系	頭痛、眠気、気分が落ち着かない

	頻度不明
感覚器	耳鳴
その他	脱力感

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。
[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

5. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

6. 適用上の注意

服用時：本剤は腸溶性顆粒剤なので、かまずにそのまま服用すること。

【薬物動態】

溶出挙動

本剤は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められたアデノシン三リン酸二ナトリウム100mg/g腸溶顆粒溶出試験規格に適合していることが確認されている。¹⁾

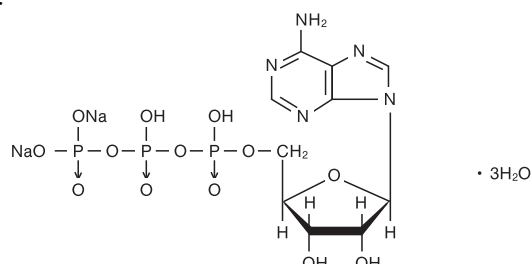
【薬効薬理】

アデノシン三リン酸 (ATP) は生体組織内における高エネルギー源として、筋肉の収縮機構に関与するなど重要な生理作用を営むとともに次のような薬理作用が認められている。

- ネコを用いた試験では脳血管拡張作用が認められ、ヒヒを用いた試験では脳血流量の増加作用及び脳組織の酸素消費量の増加作用が認められている。²⁾
- イヌを用いた試験では冠血管及び末梢血管を拡張させ、冠血流量と心拍出量を増加させる作用が認められている。³⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物
(Adenosine Triphosphate Disodium Hydrate)
化学名：Adenosine 5'-(disodium triphosphate) trihydrate
分子式：C₁₀H₁₄N₅O₁₃P₃・3H₂O
分子量：605.19
構造式：



性状：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、わずかに酸味がある。水に溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた加速試験（40℃、75%RH、6ヶ月）の結果、トリノシン顆粒10%は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。⁴⁾

【包装】*

トリノシン顆粒10% 500g 1kg
 0.6g（スティック）×420包
 1g（スティック）×84包
 1g（スティック）×420包

【主要文献】*

- 1) トーアエイヨー社内資料：溶出試験
- 2) Forrester, T. et al. : J. Physiol., 296, 343 (1979)
- 3) Rowe, G. G. et al. : Am. Heart J., 64, 228 (1962)
- 4) トーアエイヨー社内資料：加速試験

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】**

主要文献に記載の社内資料につきましても、下記にご請求下さい。

トーアエイヨー株式会社 信頼性保証部
〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-300
**電話 0120-387-999 048-648-1070

 製造販売
トーアエイヨー株式会社
福島県福島市飯坂町湯野字田中1番地

**  販売
アステラス製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町2丁目5番1号

